

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 134	提案機関名 神奈川県内水面漁連
要望問題 短期相模湾産稚鮎の人工生産について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 一昨年度より、相模湾産F11海産鮎の種苗生産が一部行われましたが、釣人や組合員の要望は、より天然に近く、昨今の豪雨に伴う出水にも適応できる、遊泳力の優れた相模湾産鮎の短期継代を望む声が多数であります。これら、短期相模湾産稚鮎の人工生産を早急に実現願いたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	内水面試験場
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	アユ資源管理研究		
対応の内容等	神奈川県内水面種苗生産施設では、平成23年に長期継代アユの生産は終了し、平成24年からすべて短期継代アユに切り換えて種苗生産を行っています。また、平成24年には相模湾産稚アユ由来のF1親魚から得られた受精卵を内水面種苗生産施設に供給し、F2アユの生産を行い、翌年の春に河川へ放流しました。内水面試験場では平成25年3月には新規の親魚候補として相模湾産稚アユを導入しています。今後、より継代数の少ない相模湾産稚鮎の人工生産できるよう努めてまいります。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			